

# 「ペリー日本遠征記」の世界

2019年4月1日～2020年3月31日

1854年4月黒船艦隊を率いて下田に入港したペリーは帰国後、自身や部下達の日記等から編集した記録、いわば膨大な出張報告書を出版しました。それが「ペリー日本遠征記」です。

第1巻はノーホーク出帆からシンガポール、セイロン、香港、マカオ、上海、琉球など寄港した地域と、浦賀、横浜、下田、箱館の記述が挿絵と共に入っています。

第2巻は航海で知り得た各地の農業、植物、鳥類、魚類などの記録とそれにもとづく考察の記述と鳥類、魚類の図版。第3巻は天体の観測記録です。

挿絵は二百数十枚載っており、主にペリー艦隊に随行した画家ハイネと写真家ブラウンの作品の石版画、木版画です。

この企画展ではその挿絵の中から特徴的・珍しい・興味ある図柄 30 数枚を選んで展示、説明します。



